

授業名称：ラップアップ

シラバス

(G空間事業者向け)

概要：

今回のプログラム全体を振り返り、授業内容に関する評価を行うと同時に、プログラム終了後の業務や日常生活への活用方法等を取りまとめる。

学習目標：

とりまとめでは、

- ①文章だけでは検討や伝達が不正確な場合の地理空間情報の活用を理解する
- ②既存の地理空間情報に対する理解や、必要に応じて新たな地理空間情報作成について理解する
- ③空間情報の整備・流通・提供に関する行政の役割を理解する
- ④政策立案、課題解決の社会技術の道具としての使い方を理解する
- ⑤これからの業務の中での活かし方を身に付ける

受講対象：

測量業、地図調製業、システム開発関連業等において、地方公共団体における GIS 導入・有効活用を効果的に支援できることを目指す者。

- (1) GIS、測量、SE、技術士等、専門的な技術知識を有するが、政策動向や法制度等の知見を今後強化しようとする技術系の若手～中堅社員
- (2) 自治体との窓口を担う営業担当の社員等

教育手法：

パワーポイントによる授業。及びグループディスカッション。

担当講師及び講師の必要要件：

空間情報に特性についての理解があり、自治体の業務の流れを理解し、その活用に向けて空間的思考についての理解があること。

参考資料：

各地の GIS 取組事例、及び以下のサイト

- 1) 地理空間情報活用推進会議：GIS ポータルサイト>GIS について>インターネットで使える GIS
<http://www.gis.go.jp/contents/about/internet/index.html>
- 2) 国土地理院：電子国土ポータル>サイト一覧>地方別
<http://portal.cyberjapan.jp/image.html>
- 3) 地図センターホームページ>地図・GIS・測量関係のリンク集>地方自治体
<http://www.jmc.or.jp/link/local.html>

キーワード:

自治体 GIS、空間的思考